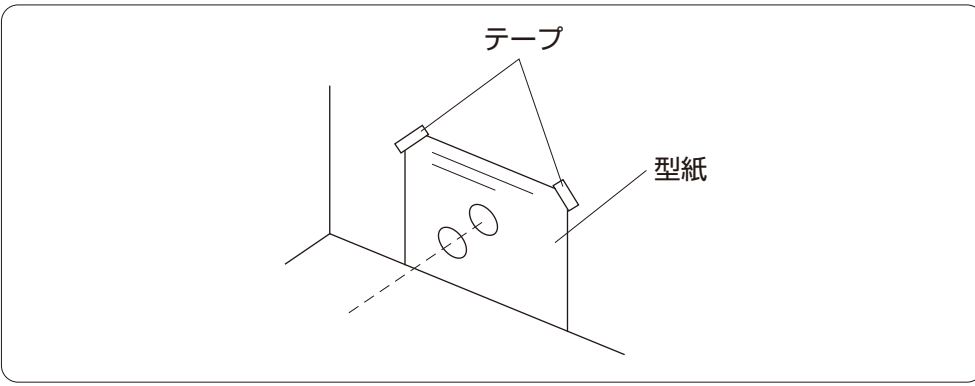


# 給排気筒標準設置取り付け型紙

## 型紙の使用法

1. 型紙の床面を床に合せて壁に貼り付けてください。
2. 給排気筒穴位置に印をつけてください。  
●同時に壁固定金具用穴位置にも印をつけてください。

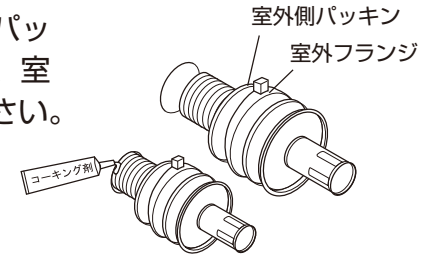


## 給排気筒の取り付け(つづき)

### 標準給排気方式の工事方法(つづき)

#### 6. 給排気筒トップを取り付けてください。

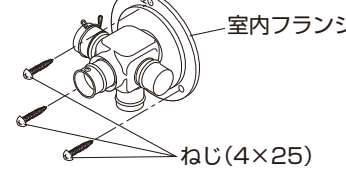
- 給排気筒トップを室外フランジ、室外側パッキンを通し、室外側より壁穴に差し込み、室内側給排気筒に半分ほどねじ込んでください。



- 雨水が激しくかかることや濃霧が発生する地域では、雨水の壁内浸入を防ぐため、ねじ込み部にコーキング剤などを塗布してください。

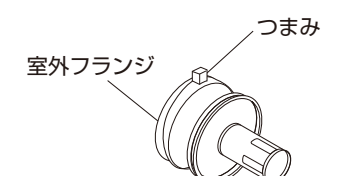
#### 7. 室内側給排気筒の室内フランジを固定してください。

- 室内フランジを「上」の文字が上になるように、付属のねじ(4×25、3本)で壁に固定してください。

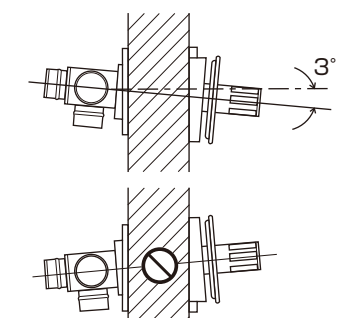


#### 8. 給排気筒トップを固定してください。

- 室外フランジのつまみが上になるように、つまみを持って壁面に押し付けながら、給排気筒トップをさらにねじ込んでしっかりと固定してください。



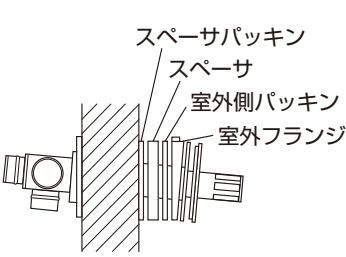
- 給排気筒の取り付け完了時に給排気筒が3°下向きになるように、室内・室外フランジの取り付け向きには十分注意してください。雨水がストープ内に入り異常燃焼したり、室内や壁内に浸入することがあります。



- 壁厚が11~13.5cmの場合は付属のスペーサを使用してください。
- スペーサ・スペーサパッキンを室外側給排気筒に通してください。

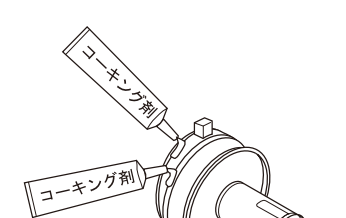
#### ■給排気筒内の結露水で壁が汚れるおそれがある場合や寒冷地などで給排気筒の先端が氷結するおそれがある場合

- スペーサ・スペーサパッキンを使用し、給排気筒トップを壁から離してください。(壁の厚さは11~21.5cmまで)
- 壁の厚さが21.5cm以上の場合は、別売部品の薄型給排気筒延長アダプタを使用してください。



#### 9. 室外フランジ部にコーキング剤を塗ってください。

- 完全にコーキングしないと、雨水が室内や壁内に浸入することがあります。



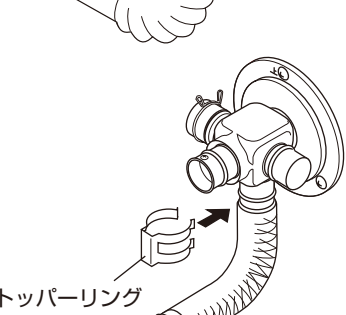
#### 10. ストープより排気管エルボを外してください。

- ストープを固定しているねじ2本をゆるめ、ストッパーをずらして排気管エルボを外してください。



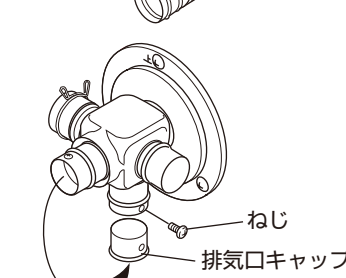
#### 11. 排気管エルボに付属の排気管断熱カバーをかぶせてください。

- 室内側給排気筒の排気口に排気管エルボを差し込んでください。
- 差し込み部のリップをはさんで付属のストッパーリングをかけてください。



#### ■水平方向の排気口に接続する場合

- 排気口は水平・垂直方向にあります。設置条件に合わせて接続する方向を決めてください。
- 水平方向の排気口に接続する場合は、水平方向のねじ、排気口キャップを外し、垂直方向に取り付けなおしてください。

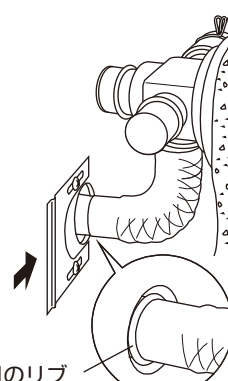


#### 13. 給気リングを取り付けてください。

- 「延長給排気方式・高地使用時の工事方法」を参照して行ってください。

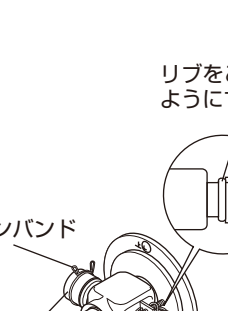
#### 14. ストープと排気管エルボを接続してください。

- ①ストープを動かし、ストープの排気口に排気管エルボを2段目のリップが完全にストープ内に入るまで差し込んで、接続してください。
- ②ストッパーを排気管エルボに押し当て、ねじ2本を締め付けてください。



#### 15. 給気ホースを給排気筒に固定してください。

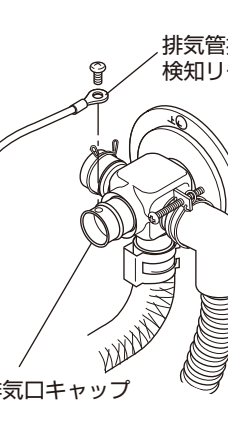
- 給気ホースに付属のワイヤーバンド(大)を通して、給気ホースを給排気筒の給気口のリップまで差し込み、ワイヤーバンド(大)で縛めて固定してください。
- 給気口は2箇所ありますので、使用しない給気口には給気口キャップを取り付け、ピンバンドで固定しておいてください。



- 給気ホースが排気管に当たらないようにしてください

#### 16. 排気管抜け検知リード線を接続してください。

- ①ストープ背面に固定してある排気管抜け検知リード線をストープより外し、のばしてください。
- ②排気管抜け検知リード線の先端の端子を、給排気筒の排気口キャップを固定しているねじで固定してください。
- ③リード線を給気ホースにピンで固定してください。(ピンはあらかじめリード線を固定していたものを使用してください。)
- ④余分なリード線をピンでたばねてください。



- 排気管接続部へのストッパーリングの取り付けや排気管抜け検知リード線の先端の端子固定を確実に行って、接触不良を起こさないようにしてください。
- 排気管の接続部が外れていたり、排気管抜け検知リード線が正しく接続されていないと、「E-19」を表示し点火できません。確実に接続してください。
- リード線は給排気筒の高温部に触れないようにしてください。

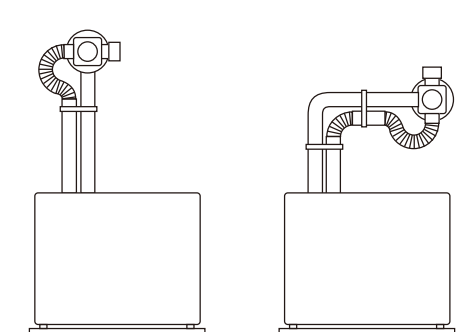
## 壁又は床固定金具による本体の固定

### 給排気筒の取り付けが終わりましたら、ストープを付属の固定金具で固定してください。

- 壁又は床の材質により固定金具の固定する方法が異なりますので、「ストープの固定」を参照して適切な方法で固定してください。

## 延長給排気方式・高地使用時の工事方法

- 標準給排気以外にも排気管や給気管を延長して取り付けることができます。給排気筒の呼び径D49タイプの別売延長セットを使用して延長工事を行ってください。



## 給排気筒の取り付け(つづき)

### 延長給排気方式・高地使用時の工事方法(つづき)

- ストープについている排気管抜け検知リード線は約2mまで延長できます。それ以上の場合は別売延長コード線 (FR-1) で延長してください。
- 標高によって延長できる長さや給気リングの取扱いが異なりますので、以下の表を参照して延長工事を行ってください。(50Hz地域、60Hz地域により調整方法が異なります。)

#### ■50Hz地域

標高	給気リング	延長条件
0m~1000m	有り(50Hz用)	標準~3m3曲がり
1000m~1500m	無し	標準設置のみ
1500m以上	使用不可	

#### ■60Hz地域

標高	給気リング	延長条件
0m~1000m	有り(60Hz用)	標準~3m3曲がり
1000m~1500m	無し	標準設置のみ
1500m~2000m	無し	標準設置のみ
2000m以上	使用不可	

- 延長配管の長さは3m以下、曲がりは3箇所以下になるように配管してください。それ以上延長しますと異常燃焼することがあります。
- 延長配管の排気・給気のそれぞれの長さや曲がり数は同じにしてください。
- 排気管の取り付けはストープ本体出口を最も低い位置とし、上り勾配で取り付けてください。下り勾配や凹部になっていますと排気管にドレンがたまり、異常燃焼の原因になります。
- 排気管接続部の全てにストッパーリングの取り付けを確実に行ってください。「E-19」を表示し点火できないことがあります。
- 最大使用標高は2000mです。
- それ以上標高が高いと異常燃焼の原因になります。

## アドレス設定((U)の場合)

- (U)のアドレスは以下の手順を参考にして設定してください。(設定は操作部で行います。)
- 設定方法
  - ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。(運転中は設定できません。)
  - ②室温調節ボタンの「▽」「△」を3秒以上同時に押し続けてください。
  - ③液晶表示部の表示が「Ad\*\*」(\*\*はアドレス)へ切り替わります。※出荷時のアドレスは「00」。
  - ④室温調節ボタンの「△」を押すとアドレスが加算され(最大「F」)、「▽」を押すと減算されます。
  - ⑤設定したいアドレスを表示させてリセットボタンを押し、温度表示に戻せば設定完了です。

## 試運転

- 試運転は使用者とご一緒に必ず行ってください。詳しくは取扱説明書の38ページを参照してください。

## 廃棄するときの注意

- ストープを廃棄するときは、必ず灯油を抜いてください。リサイクルの支障となります。

この線を床面に合せてください。